自動車整備・マスターメカニック科(3年次) 自動車整備・トータルマスター科(4年次)	2025年度 授業計画

時 期	3年又は4年後期	単元	学科	教科名	応用学科２		
科 目	－	教科書等 持参品	整備科時の教科書			発行日	2025年5月22日
総時限 必須時限	38時限 33時限					教科 担当	松本　良和

1．指導教員の実務経験　　該当　　非該当

自動車整備士として自動車整備全般の実務経験がある教員により自動車の構造・作動について指導する。

2．教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

自動車の各部品を性能向上パーツに交換、、調整を行い、車両全体の性能の向上を図る。
完成車の出力測定、実走行することで、ノーマル車両との性能の違いを体感する。
完成車両にて、レースに参戦する。
進行状況により、残業が発生する。

3．授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

ノーマル車両から、パーツを交換することにより、それぞれのパーツがどのように性能が向上するのか、役割を理解する。
学生が作業した車両を実際にサーキットに持ち込み、ノーマルに比べてどのように性能が向上したのかを体感する。
自分の作業した車両が問題なく、機能しているか確認し、不具合が発生した場合は、故障探求、修理を行い、性能が発揮できる状態にする。
レースに参戦を目標に、準備から作戦ミーティング、当日の走行まで学生が考案してすべて運営する。

4．学習評価（期末試験での主な試験項目）

授業最終日にレポートを提出。レポートの内容にて合否判断を行なう。
・合格点：60点以上
　80点以上：優　　60点以上：良　　60点未満：不可
・不合格の場合、再提出を指示し、60点以上で合格とみなす。
　再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

5．準備学習

・基礎授業で学んだ事を復習しておくこと